

JAFRA NEWS

公益社団法人 日本鉄道広告協会 会報

6月号
Vol.36
2016年6月1日発行

Japan Association for Rail Advertising

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：<http://j-jafra.jp/>



調査研究委員会 e・販促データ企画編集会議では、JAFRA 会員に向けて交通広告のプランニング・販促支援システム「Train AD Planner」(以下 TAP)「Station AD Planner」(以下 SAP) の開発を行っております。この4月にも施設データの改修やユーザビリティ向上などのリニューアルを行いました。

今回は、すでにお使いの皆様へのリニューアル告知と合わせて、これまでなじみの無い皆様にも、このシ

e・販促データのご案内

巻頭レポート

システムを知って頂くいい機会と考え、改めてシステムの特性についてご案内いたします。

1. e・販促データについて

本システムは元々「中づくり」のADデータ「駅ちようさんのADデータ」として開発がされました。もしかしたら、こちらの名称の方が、まだまだなじみがある方もいらっしゃるかもしれません。そのシステムを下敷きとして、2014年4月に大幅改修を行い現在の形になりました。大幅改修のポイントは大きく4つありました(表1参照)。

まず1点目として「**完全WE B化の実現**」が挙げられます。これにより、システムのインストールが不要になっただけでなく、更新・改修の頻度向上など、質的向上も図られました。

2点目が「**全国化**」です。「駅

Train AD Planner

車両広告プランニングシステムです。
全国10地区の「中づくり」「まど上」「ステッカー」「ドア横」「広告貸切」「車体広告」「デジタルサイネージ」の料金情報を収録しています。e・販促会員は、広告種別ごとの路線情報および首都圏、近畿、中部地区の路線図を参照しながらプランニングが行えます。

Station AD Planner

駅広告プランニングシステムです。
全国10地区約7200駅を対象に、「駅ばり広告」「駅ばりセット広告」「駅DS」の料金情報を収録しています。e・販促会員は、乗降人員や周辺施設情報等の条件にあった駅リストの作成を行えるので、駅広告全般のプランニングが行えます。

e・販促データ編集会議 副編集長
協立広告株式会社
マーケティングリサーチ部 次長
佐藤 正洋



ちようさん」では、料金表データの
みが全国対応していましたが、「S A
P」になり駅施設データも全国対応
となりました。また、「中づりくん」
では、システムが首都圏のみのもの
でしたが、「TAP」になりシステム
も*全国対応となりました。

(表1)2014年4月 大幅リニューアル
4つのポイント

1. 完全WEB化の実現
2. 全国化
3. 収録媒体や施設、路線データの充実
4. e-販促会員以外でも使えるシステムとした

最後に4点目として「e-
販促会員以外でも使えるシス
テムとした」ということが挙
げられます。「駅ちようさん」・
「中づりくん」時代には、受益
者負担の観点から、有料会員
にのみシステムを提供してい
ましたが、会員全体の発展と
いうJAFRAの目的に照ら
し、広く会員に使えるシステ
ムとして生まれ変わりました。

3点目は「収録媒体や施設、路線
データの充実」です。近年、車両・
駅メディアに見られるデジタルサイ
ネージの普及に合わせて、デジタル
媒体への対応を図りました。その後、
SAPにおいては2015年度に一
部SP媒体を対象に加えるなど、一
層の拡充を図っております。

2. 何ができるのか?

では、本システムを使うと
何ができるのか? システムの
活用は、代理店の工夫によっ
て様々想定され、独自性を発
揮するためにご活用頂いてい
る場合も多くあると思いま
す。そのため、このように使っ
て下さい、という推奨例があ
るわけではありませんが、基
本的な使い方として想定され
る活用法をご案内いたします。
いずれの場合においてもその
名の通り、プランニングツ
ールとしての活用という点が共
通していると思います。

① 見積書作成

システムにより路線・駅の
検索だけでなく、ユニットの
選定を行うことで料金や掲出
形態の確認が可能で、CSV
形式でのデータ抽出も可能で
す。そのため、冊子状の料金
表の手作業による入力や、媒
体社ごとにメディアガイドを
開く必要がなく、全国・複数
電鉄による交通広告展開案の
作成時などに利便性を発揮し
ます。

電鉄名	駅/セット名	種別	乗降人員(人)	等級	規格	数量	単価	料金(円)	制作・作業費
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 主	4,983,076	-	B0	1	20	1,900,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 主	4,146,708	-	B0	1	10	950,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 主	5,972,950	-	B0	1	14	1,200,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 副	5,654,252	-	B0	1	14	1,200,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 副	3,790,356	-	B0	1	40	2,800,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット 山	8,164,716	-	B0	1	20	2,200,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	連絡リセット	1,099,006	-	B0	1	22	1,000,000	-
<input type="checkbox"/>	京東日本	両富中央連絡	1,496,314	-	B0	1	33	3,000,000	-
<input type="checkbox"/>	東京メトロ	リボードLAセット	4,596,929	-	B0	1	42	2,600,000	-
<input type="checkbox"/>	東京メトロ	リボードLAセット	4,596,929	-	B0	1	42	2,080,000	-
<input type="checkbox"/>	東京メトロ	リボードLBセット	4,596,929	-	B0	1	44	2,600,000	-
<input type="checkbox"/>	東京メトロ	リボードLBセット	4,596,929	-	B0	1	44	2,080,000	-

都圏・関西・中京・札幌・福岡地区の路線図データも搭載しています。路線図はプランに応じて路線ごとに色分けされ、電鉄間の相互乗り入れ区間にも対応するなど、視覚的にメディアプランを描くことができ、提案時の説得力向上に役立つことと思います。また、SAPにおいては媒体社別、駅ばりセット

② 企画のヒント・補強データの活用
 こちらは有料会員（e・販促データ会員）のみに提供されるデータとなりますが、路線ごとの推定利用人員や走行エリア・距離、駅乗降人員、駅周辺施設など、プランニングのヒント・補強材料となるようなデータが多く搭載されています。
 マーケティングデータだけでなく、TAPでは首都圏・関西・中京・札幌・福岡地区の路線図データも搭載しています。路線図はプランに応じて路線ごとに色分けされ、電鉄間の相互乗り入れ区間にも対応するなど、視覚的にメディアプランを描くことができ、提案時の説得力向上に役立つことと思います。また、SAPにおいては媒体社別、駅ばりセット

の掲出形態別などからも媒体を検索できることから、効率的なプランニングに役立つ機能が搭載されています。
 ③ その他
 この他にも、スケジュールの作成やプラン（条件）保存機能など、様々な機能が搭載されています。



3. まずは、是非使ってみてください
 ここまで、システムの特性についてご案内してまいりましたが、繰り返しになりますがJAFRA会員であれば一部機能を除き無料で使うことができます。是非、一度触って、その便利さを体験して下さい。e・販

促データ編集会議では、毎年東京・大阪で操作説明も実施しています。（今年度も6月3日東京、6月7日大阪で開催いたします。）
 直接会場にお越し頂けない場合でも、詳細なマニュアルも用意しております。また、もしご不明な点、e・販促会員へのご興味をお持ちの方がいらつしやいましたら、JAFRA事務局までお問い合わせ頂けると幸いです。

最後に

本システムを日頃ご利用頂いている会員社の皆様、ご利用ありがとうございます。編集会議では皆様の利用状況（アクセス数やアンケート調査結果など）から、更なる利便性の向上とデータの拡充のために、打ち合わせを行っております。もし、こうしたデータが欲しい、この部分が使いたい、というご意見ございましたら、是非事務局までお声をお寄せ下さい。システムがより良きものとなるよう、今後もご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

※全国化の区分けはJAFRA支部単位の区分けに統一し、利便性をアップしました。

【お問い合わせ先】
 JAFRA事務局
 電話 03(5791)1808

「駅とアート」

理事 平川 敏彦 (北海道旅客鉄道株式会社)

駅のコンコース始め、公共的な空間にアート作品が設えられているのを見るのは、心惹かれるものがある。安らいだり、ちよつとした驚きを与えてくれたり、或いは活力、叙情、旅情等様々な感情を沸き立たせてくれる。

無機質な空間に作品が佇んでいるだけで、空間が引き締まったり、求心力を感じたりと、えも言われぬ雰囲気醸し出したりする。



旭川駅「天秘」

アート作品の持つパワーというか、オーラのようなものを感じているのだろうか。作品の前で自分と向き合っているような、そんな光景を目にすることもある。

JR北海道においても、地域の方々、事業者、各種団体のお力添えもあって、駅構内及びその周辺にアート作品が置か

れている。そんな作品のいくつかを紹介したい。

まずは、北の最果て稚内駅。駅舎が再開発ビルと合築となり、そのコンコースに流政之氏の彫刻「KANE POPPO」が北を向いて立っている。

南に下って、旭川駅。平成23年、高架事業により生まれ変わった駅舎のグラウンドオープンに合わせ、駅コンコースに地元有志により設置された安田侃氏の「天秘」始め、砂澤ビツキ作品、中原悌二郎商賞受賞作品、家具作品等が構内に設置されている。さながら、美術館駅の呈である。

札幌駅は、JRタワー、大丸を含め数多くの作品が点在しており、探索しつつ見て回るのも楽しい。東西コンコースにそれぞれ「Eggs」(浅見和司氏作)、「妙夢」(安田侃氏作)が人々を迎えてくれる。全体で50以上の作品が散りばめられている。これらの作品の多くは、JRタワー建設時に公募により選ばれたもの。応募総数は1031点に及び、アーティストに限らず様々な職種、小学生から70代まで幅広い年齢層から応募があった。

新しいところでは、北海道新幹線新函館北斗駅における五十嵐威暢氏作品「ムクムク 水と光と大地に捧げる詩」。手吹きガラスを使った新しい光の造形で、道南の大沼、駒ヶ岳等をイメージされた作品。改札口を抜けようとする視線の向こ



新函館北斗駅「ムクムク 水と光と大地に捧げる詩」

うに見える鮮やかな色彩。NKB様のご尽力もあり、空間に豊かさが増した。北海道のみならず、ご旅行の際の、或いは通勤・通学のひととき、アートと向き合い感情を楽しむ。そういう瞬間があってもいい。

次回もお楽しみに。

広告主の声に答える 広告到達率共通指標推定システムのご紹介

車内広告の掲出期間に乗車した人の何%にその広告は届くか

交通広告共通指標推定システムは、「広告到達率」を推定するシステムです。ある車内広告の掲出期間に乗車した人のうち、その広告を見る人は何%くらいかを推定することができます。

中ぶり（一般）、中ぶり（出版）、まど上、ドア横、ステッカー、ビジョンの6パターンの推定モデルが今春揃いました。

JAFRAのホームページで共通指標のアイコンを押すと案内があります。会員社はここからログインすると推定システムを使うことができます。

【図1】が推定システムのアウトプットです。上段に路線やユニット、



交通広告共通指標推定システム <Ver.2.0> 会社名: 株式会社オリコム

◆ 設定内容

年度:	2016年度	地区:	首都圏	メディアタイプ:	車両メディア
社名:	東京メトロ	路線セット名:	東京メトロ全線	ユニット:	中ぶり
実施料金:	2,571,000円				
ターゲット:	個人全体 (15-59才)				

利用サーキュレーション: SOTO+/ex オプションメニュー: 利用しない 平均利用回数: 利用しない

◆ 推定広告到達率: 42.9%

項目	推定値
平均値:	40.7%
1.サイズ シングル	-0.9%
2.掲出期間 2~3日	-2.0%
3.他鉄道会社出稿有無 有	1.7%
4. TVCM出稿有無 有	4.2%
5.業種 消費財系	-0.8%
東京メトロ全線	42.9%

◆ 推定広告到達人数: 1,315千人

① 調査エリア内推定人口	19,906千人
② 掲出期間内路線系利用率 <Reach>	15.4%
③ 推定広告到達人数	1,315千人

◆ CPM: 1,955円

① 実施料金 ÷ 推定広告到達人数 = 1,955円

<オプション> 推定広告域へ到達人数

A. 調査エリア内推定人口	19,906千人	D. 推定広告域へ到達人数	
B. 平均広告接触率		E. CPM	
C. 掲出期間内路線系へ利用率			

集計日時: 2016/4/27 17:22 交通広告指標推定システム

【図1】推定システム出力

【図2】どう使う？ 推定システム



※ 広告到達率: 掲出した路線の利用者に占める広告を認知する人の割合。 ※ CPM: 千人当りコスト。

実施料金、ターゲットなど設定した内容があります。中段の左側が「広告到達率」のコーナーです。サイズや掲出期間などの広告の属性を設定すると広告到達率を推定します。

中段の右側が CPM (到達千人当りコスト) のコーナーです。先に左側で推定した広告到達率をまず人数に換算してから、設定した実施料金を千人単位で割って算出しています。

この計算には掲出期間内の掲出路線の実利用率(リーチ)を使うため、ビデオリサーチ社の SOTTO/ex の契約が別途必要になります。

SOTTO/ex 以外の掲出期間内の掲出路線利用者数(延べ人数)ではなく実人数)を持っていく場合は(出力が EXCEL 形式なので) 手入力して使います。

どう使う？ 推定システム【図2】

① 広告到達率

「広告到達率」は、媒体ユニットを選ぶ指針となります。また、自社の広告の調査結果と比較するノーム値としてみれば、クリエイティブの良し悪しを判断する手がかりとしても使えます。

② 広告到達人数

「広告到達人数」は、路線を選ぶ指針となります。実施料金を入れれば CPM も計算されるので、コスト効率を判断する手がかりになります。

関東交通広告協議会が 4年間に873素材を調査

この広告到達率の推定は、実際に掲出された広告素材を呈示する共通指標調査に基づいています。2012年から4年間に873素材を調べ、総回答者数は46767人(一人が6素材まで回答)にもおよびます。

この調査は、関東交通広告協議会の11社が共通の設計と設問で実施し、結果を共通のプラットフォームに集めてDB化しています。個々の素材の結果は漏洩することのないように厳重に管理されています。

調査項目には広告到達率だけでなく、クリエイティブ評価や興味喚起/購入喚起度、認知後の行動などを含んでいます。これらの共通指標調査報告書やクロス集計表は、11社のいずれかを通して入手できます。

共通指標調査は2016年度以降も継続しており、これからも推定の精度をさらに向上させていきます。

広告主に応える業界標準の アカウンタビリティデータに

このシステムは2015年4月に稼動して以来、現在会員社は52社にのぼり、交通広告のアカウンタビリティの業界標準となっています。

以前は電鉄各社がそれぞれに広告到達率調査を行っていたため、比較ができませんでした。そこで調査の仕様を揃えてCPMなどを比較できるようにしてほしいという、広告主の方々の要請に応えたものです。

また利用者人数も、一日平均乗降客数(サーキュレーション)に基づいた延べ人数の推定でしたが、SOTTO/exにより実人数に基づく推定を行っていることも、広告主の方から高い評価を得ています。

共通指標推定システムの会費は年間1社5万円です。これで広告到達率の推定ができます。ぜひ入会いただき、交通広告アカウンタビリティの最前線に踏み出してください。

【お問い合わせ先】

JAFRA事務局
電話 03(5791)1808

九州支部

熊本地震レポート

平成28年4月14日熊本県熊本地方震央とするマグネチュード6.5の地震（前震）、その後4月16日未明に同地方を震央とするマグネチュード7.3の大型地震（本震）が連続的に発生し、各方面で大きな被害が発生しました。

JR九州関係でも、前震発生と



同時に九州新幹線（博多駅から鹿児島中央駅間）及び熊本地区の在来線が運転見合わせとなり、熊本地区の駅施設の損傷及び九州新幹線施設の損傷、豊本線立野駅から赤水駅間の線路流失など1190カ所での被害が発生しました。

地震発生の直後から復旧に向けた、JR九州及び関係者の昼夜にわたる復旧活動により、熊本地区の在来線は4月18日午後から順次運転を再開、また九州新幹線は、4月28日から臨時ダイヤで全線での運転が再開されました。ただし、豊本線の肥後大津駅から豊後萩駅間は現在でも運転見合わせが続いています。（5月27日現在）

JR九州から5月20日、熊本地震による業績への影響額が九州新幹線、熊本地区在来線の運転見合わせなどの減収額90億円、鉄道設備などの被害85億円、合わせて175億円に上ると発表されました。

今回の地震による鉄道広告への影響は、器体、設備等の損傷は軽微なものでしたが、熊本地区在来線及び九州新幹線の運転見合わせによる車

内広告、また熊本地区の在来線駅及び九州新幹線の新鳥栖駅から鹿児島中央駅までの各駅のサインボード、デジタルサイネージ、ポスター類等への支障が発生しましたが運転再開に伴い通常に戻りつつあります。

九州をはじめとした全国で平成28年熊本地震の復興支援が加速するなかで、JR九州では、通常ダイヤへの復旧作業を進め、一日も早い復旧・復興を願い4月28日から九州新幹線や在来特急で「元気に！九州」ラッピングトレインを運行しています。修学旅行、宿泊のキャンセルが相次



震災前の熊本駅



錦江湾と桜島もお待ちしております

ぐ中、九州全域の観光産業への影響が大きく懸念されます。JAFRA九州支部でも広告の持てる力を発揮し会員の力を合わせて「九州の元気」を創りだしていきたいと考えています。

ぜひ皆さま九州におこしく下さい。

2016年の熊本地震により、被災されました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆さまの、1日でも早い復興を心よりお祈りいたします。

JAFRA ADS

「Station AD Planner(SAT)」「Train AD Planner(TAP)」 & 交通広告共通指標推定システム講習会を開催します。

巻頭と委員会便りでも案内がありましたように、調査研究委員会、e・販促編集委員会及びアカウンタビリティ向上委員会では、JAFRAの展開する2つの広告システム、ADS「SAP」「TAP」及び交通広告共通指標推定システムの講習会を、東京と大阪で同日開催します。

この講習会は新入社員や交通媒体部門に異動されて日の浅い方が対象となるもので、毎回多くの会員社の皆さまにご参加いただいております。

特に、交通広告共通指標推定システムは、有料会員のみ操作が可能ですが、実際にどのようなデータが分析されるのか、この機会にぜひ体験ください。

【東京会場】
2016年6月3日
(金)
【大阪会場】
2016年6月7日
(火)



*講習会終了後、アンケートにご協力お願いいたします。

〈スケジュール〉
① 14時00分～15時30分
JAFRA ADS講習会
「Station AD Planner」
「Train AD Planner」
の説明
② 15時40分～16時30分
交通広告共通指標推定システム講習会
交通広告共通指標推定システムの説明

定期総会のお知らせ

6月28日(木)に池袋のホテルメトロポリタンにて定期総会を開催します。

会員社の皆さまには既にご案内をお送りしておりますが、出欠のがきを6月13日までに投かんをお願いします。皆さまのご出席をお待ちしております。

〈定期総会〉 14時00分 桜の間
〈臨時理事会〉 15時30分 光の間
〈セミナー〉 16時00分 富士の間A/B

「スマートフォンと交通広告の連携について」

〈懇親会〉 17時30分 富士の間C/D
会費…10000円/人

その他協会の予定

第2回理事会…12月(詳細未定)
第3回理事会…2017年3月 (詳細未定)

平成29年広告界合同年賀会
2017年1月6日(金)

15時30分
帝国ホテル2階「孔雀の間」

編集後記

東日本大震災からほぼ5年経過したと思っている矢先に、今度は九州、熊本で震度7を2度も記録する震災が発生しました。見慣れたお城が崩れるのは、観光資源の破損ということよりも、自分の日常を支えてくれているものの存在が危うくなるということで、皆さまショックだろうな…と思います。私にもできることとして、「食べて支援」を継続していきます!!

皆さまの夏の計画教えてください!

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp



●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ (<http://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。